

株式会社オプトラン

個人投資家向け説明会（2022年9月10日開催）QA サマリー

Q1：競合はどのような会社か？優位性はどのようなところか？

A1：主に日本・中国・欧州の企業。PVD装置に関しては、ローエンドは中国、ハイエンドは欧州のメーカーが競合。また、新技術であるALDは、フィンランド発の企業である。

蒸着装置の優位性は、使用しているイオンソースは長時間成膜した場合でも安定的に精密な成膜を行うこと。スパッタ装置は固い膜、難易度の高い膜を成膜が可能であることや装置レイアウトやプラズマソースは当社独自の技術を開発していること、ALD装置は当社子会社である Afly solution Oy のALD技術と当社プラズマ技術を融合し、低温、低反射の成膜が可能なこと。

Q2：中国上海市のロックダウンの影響は？中国リスクの対応策は？

A2：4月は生産ができない状況だったが5月に政府の認証を得て、生産を再開した。6～8月はフル稼働で生産を行い、ロックダウンの影響を最小限に抑える努力を行った。しかし、現在においても中国各地では新型コロナウイルス感染拡大のリスクがある。リスク低減のために光馳科技股份有限公司（台湾）での生産や当社グループの従業員が顧客に近い都市に滞在し検収活動を行っている。当社投資先での生産を検討していく。また、日本では半導体光学融合や光電子分野の研究開発活動を強化し、外注を利用した生産を検討する。さらに今後は中国以外の生産拠点を東南アジアに設けることを検討していく。